

---

# 介護の一端

聖魔光闇

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

介護の一端

### 【コード】

N8988T

### 【作者名】

聖魔光闇

### 【あらすじ】

老人介護、その一端を簡潔に書いてみた。誰もが通る可能性のある道。だから、百聞は一見にしかず思て読んでみて。

**(前書き)**

介護自体が大変なんやないんや。

老人介護業界が大変やという話はよう聞く。

けど、何が大変なんか分かってて言ってるか？

現在の老人介護業界。

一言にいつても、いっぱいあんなんで。それらを全て紹介する事はでけへんけど、ちよつと簡単に紹介するわ。

でな、老人介護に関する事、大人だけやない。子供も真摯に受け止め、考えてくれへんか？ 現場の奴らは好きでやってる奴らが大半やけど、限界きてる奴もいっぱいおるからな。

老人介護で一番よう聞くのは、やっぱり老人ホームやないか？

本当はな、老人ホームいうたら二種類あんな。

養護老人ホームっていうのと、特別養護老人ホームいうの。

養護老人ホームというのは、要介護度が低くほぼ自立生活が営める人達がいてる施設の事や。中では、利用者が日々の仕事の役割を分担したりして生活してる。

特別養護老人ホームいうのは、要介護状態にあり、精神または身体的に著しい障がいがあったり、社会への適応能力の欠如があったりする人が、介護や介助・援助・支援を受けて生活している所や。

特別養護老人ホームの中には、主に介護員（昔の寮母）がおつて、業務と呼ばれる生活支援を行ってる。

他に有名な施設は、老人保健施設やな。

これは集約すると、病院と特別養護老人ホームの中間施設や。

特別養護老人ホームのように介護員が多くなく、看護師も多数いてる。しかも、リハビリ師（PT：理学療法士やOT：作業療法士）がいてて、リハビリも行いつつ、介護も行ってる。

一概に言われへんけど、老人介護業界で、最も大変とされる施設

やな。

そして忘れてたらあかんのが、在宅援助サービス。まずはヘルパーサービスや。

殆どのヘルパーセッションは、家事援助型というサービスを行っている。これは、直接介護を行わへんサービスなんや。

なんで直接介護をせえへんか知ってる？ 答えはな、主にいてるヘルパーヘルパーが2級ヘルパーやからや。直接介護がOKされてんのは、1級ヘルパーと介護福祉士だけ。だから、家事援助型が多いねん。

でもな、現場におつても疑問に思う。特別養護老人ホームの介護員には、ヘルパー2級の人達もおんねん。でも、その人ら直接介護してんねんけどなあ……。

そしてもう一つが、デイサービスや。基本、送迎・入浴・食事・レクリエーション付きサービスやねんけど、デイサービスには上手い活用法があつてな、それぞれのサービスが分裂して存在してるから、チョイスできる施設もあんねん。

全てがセットになつてる訳やないから、入浴だけつてもアリな訳や。

ある意味、自分で施設まで行つて、介護員のおるところで、安全に入浴して、お昼御飯だけ食べたら、また自分で家まで帰る。こうしたら、送迎代とレクリエーション代をカット出来るから、介護保険の点数を限界まで有意義に使える。つー訳やな。まあ、いうても、要介護度1〜2の人向きの話やけどな。

一般の人が言う介護の大変さ。これってたぶん、排泄ケアやと思うねん。

排泄ケアってな、そんなに大変とちゃうねんで。

ちなみに、入浴ケア・食事ケア・移動介助・余暇活動・コミュニケーションなどのいろんなケアも、たいして大変ではないんや。

じゃあ、何がそんなに大変やねん!? って思うやろ?

それはな、家族との連絡不足・家族の放置・地域住民との連携不足という点が大変なんや。

家族の大半は、年寄りをホームに預けたら、それで終わりやと思ってるのか、面会にも殆ど来んと、外泊どころか外出もせえへんようになる。

施設に入ってる年寄りの心の訴え知ってる？

「私は悪い事してへん！　なんで、こんな監獄みたいな所に入れられやなあかんの！？」

って思ってる人が、ようさんおんねんで。

年寄りの心の寄り処は家族や。その家族から疎遠されて、鬱状態になる年寄りも少なくないねんで。

せめて年に一回、正月くらいは一家団欒したって。そやないと、年寄りも苦しいし、介護員も年間96日休みという、正月も盆も夏休みもゴールデンウィークもない現状の中で、壊れていくだけやから。

あとな、地域の人達。施設の建設に反対やったかどうかしらんけど、施設の行事や運営に協力する姿勢を見せてえや。

施設つてのはな、単体では機能しにくいんや。地域と連携する事で、その活動範囲はグッと広がる。

特に創設祭なんかで、地域の人達と交流する事で、利用者の精神状態・スタッフの精神状態は、飛躍的に向上する。

よくある例で、施設サイドでは《エスケープ》と称する利用者の無断外出。これの時に、地域住民の連携があると、大変助かるんやで。

措置制度時代には、地域に存在している施設に絶対入所やったんが、介護保険制度になって、入所施設選択可能になったけど、それでも地域からの入所が大半なんも事実や、そこんこようよう理解して協力してほしいもんやな。

施設つてのはな、施設単体で運営・管理してるんやないんや。施設が運営して、利用者の生活を介護員がサポートして、精神状態の

管理を、施設職員と地域住民が協力してサポートするもんなんや。よろしく頼みますわ。

特に子供（幼稚園・保育園くらいの年齢）の施設訪問は、利用者にとつて最上級の精神安定をもたらす。

なんでかしらんけど、年寄りつて小さい子供が大好きなんや。子供を見て、紙で出来た記念品を貰うだけで、後生大事にそれを保管していたりするんや。それくらい、子供の事好きやねん。だから、地域の幼稚園や保育園の訪問・発表会なんかには、スタッフでは引き出す事の出来ない笑顔を、引き出す事が出来るんやで。

### 最後に

よく施設介護の現場でみられる光景やけど「介護員！ オムツ内への排泄の不快感から「オムツ替えて」と訴えてる利用者に「もう少しで、オムツ交換やから待つとき！」って言うのは、やめたりや！」

そんな事言う介護員は、介護員失格や！ いっぺん、自分にオムツ着用して、交換時間だけでやってみたら、利用者の気持ちわかるやろ！

介護業界の仕事も、その他の仕事も、大変なんは変わらへん。

だから、介護だけが大変みたいに言わんという。天狗になる、馬鹿な介護員もおるからな。

でも、施設外との交流は大切や。だから、家族・知人・地域住民が一丸となって、施設を盛り上げて欲しいと願う。

それが、近未来型介護施設の姿やと思うから。

みんな歳をとる。みんな老いていく。親も自分も友達も子供も、みんなや。自分は、関係ない。そう思わんと、ちよつと真剣に考えてくれへんか？

そうしたら、今の社会福祉士の卵が理想としている現実に、少しでも近付けると思うから。

超高齢化社会は、もう目前に迫ってんねんで!!



(後書き)

老若男女が考えなあかん事ちやうか？

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8988t/>

---

介護の一端

2011年6月7日14時40分発行